

JILPT 調査シリーズ

No.197

2020年3月

# 人生100年時代の企業人と 社会貢献活動に関する調査

The Japan Institute  
for  
Labour Policy and Training

独立行政法人 労働政策研究・研修機構



# 人生100年時代の企業人と 社会貢献活動に関する調査



## まえがき

高齢社会が本格到来し、65歳以降も社会において活躍し続けたいと願う高齢者が増えている。本研究は「人生100年時代」を見据え、雇用や賃労働で働くことに留まらず、自営、開業、特に社会貢献活動も活躍の場として視野に入れながら、人生の最終期においても生きがいを感じることが出来る生涯キャリアをいかに作るかを考えていくものである。

本報告書は『人生100年時代の企業人と社会貢献活動に関するアンケート』調査の集計結果を収録している。本調査は2種類の調査から成っている。1つは、超大企業5社の社員に協力を得て実施した「企業調査」で、約1万2千サンプルを回収している。もう1つは、大企業のホワイトカラー正社員に対して実施した「ウェブモニター調査」である。同じ調査票を使い、集計結果が対比出来るように設計し、本報告書でもそれぞれの特徴や傾向がわかるように執筆した。

本調査は企業人のボランティアや社会貢献活動（パラレルキャリア）が定年後のセカンドキャリアを構築する上での基軸となりうるという仮説を持って実施している。どういった職種、技能、働き方をする人が、どのような社会貢献やキャリアに対する意識を持つのか。また、企業や社会は社会貢献活動の推進のためにどのようなシステムを構築していけばいいのか。

本調査に先立ち、ヒアリング調査（JILPT（2019）『生涯現役を見据えたパラレルキャリアと社会貢献活動－企業人の座談会（ヒアリング調査）から』）を実施し、そこでの知見を調査設計に役立てている。調査設計時から研究会に参加し、協力いただいた5つの企業と担当者、および、忙しい業務の合間に調査に協力してくださった社員の皆様には深く感謝申し上げたい。

本報告書が今後の社会生活やキャリアを考える上で、企業の人事、CSR担当者、政策担当者をはじめ、NPOや社会貢献活動に携わる人々の参考になれば幸いである。

2020年3月

独立行政法人 労働政策研究・研修機構

理事長 樋口 美雄

## 執筆担当者(執筆順)

氏名	所属	担当
小野 晶子 <small>おの あきこ</small>	労働政策研究・研修機構 主任研究員	第1章、第2章 第3章1～3節
飯間 敏弘 <small>いいま としひろ</small>	東京大学大学院教育学研究科 特任助教	第3章4節
古俣 誠司 <small>こまた せいじ</small>	労働政策研究・研修機構 アシスタントフェロー	第4章
田中 弥生 <small>たなか やよい</small>	芝浦工業大学 特任教授(執筆時)	第5章

※上記以外の研究参加者

渋井 進 大学改革支援・学位授与機構 研究開発部 教授

## 目 次

第1章 調査の概要.....	1
第1節 調査目的と方法.....	1
1. 調査目的.....	1
2. 調査対象と調査方法.....	1
(1) 企業調査.....	2
(2) モニター調査.....	2
3. 有効回収数と回収率.....	2
第2節 企業調査とモニター調査の基本属性の概要.....	3
第2章 企業で働く人のボランティアや社会貢献活動への参加と希望.....	7
第1節 ボランティアや社会貢献活動の経験.....	7
1. 個人属性との関係.....	8
2. 最終学歴、年収との関係.....	9
3. 寄附や介護経験との関係.....	10
4. 現在も活動を継続している人の割合.....	11
第2節 参加したボランティアや社会貢献活動の種類と内容.....	12
1. 活動団体の種類.....	12
2. 活動分野.....	14
3. 活動内容.....	16
4. 活動期間と活動日数.....	17
第3節 ボランティアや社会貢献活動への参加のきっかけと周囲の影響.....	19
1. 活動参加のきっかけ.....	19
2. 周囲からの影響.....	21
第4節 ボランティアや社会貢献活動から得られたものと役立った能力.....	23
1. 活動から得られたもの.....	23
2. 活動に役立った能力や経験.....	26
第5節 ボランティアや社会貢献活動への不満、参加しない理由.....	28
1. ボランティアや社会貢献活動への不満.....	28
2. 活動をしてこなかった理由.....	29
3. NPO に対するイメージと活動への参加.....	31
第6節 ボランティアや社会貢献活動の参加希望とその理由.....	33
1. ボランティアや社会貢献活動の参加希望.....	33
2. ボランティアや社会貢献活動希望者の参加動機.....	36

3. ボランティアや社会貢献活動の希望分野 .....	41
4. ボランティアや社会貢献活動希望者の参加時期 .....	43
第3章 企業での働き方と社会貢献活動 .....	45
第1節 仕事の経験と社会貢献活動 .....	45
1. 勤続年数と海外滞在経験 .....	45
2. 仕事の難易度 .....	46
3. 職種 .....	48
第2節 労働時間と社会貢献活動 .....	51
第3節 仕事の満足度と社会貢献活動 .....	57
1. 仕事の満足度 .....	57
2. 賃金、収入の満足度 .....	58
3. 労働時間、休日、休暇の満足度 .....	59
4. 仕事の内容の満足度 .....	60
5. 仕事を通じた社会貢献の満足度 .....	62
6. 仕事の満足度と活動参加希望の関係 .....	63
第4節 会社への期待、求められる支援制度 .....	65
1. 会社に求める活動支援策 .....	65
2. 今後の活動参加希望との関係 .....	66
3. ボランティア紹介・マッチングシステムの利用 .....	68
4. 小括；求められる活動支援策 .....	71
第4章 企業人の「得意なこと・苦手なこと」と社会貢献 .....	72
第1節 「得意なこと・苦手なこと」 .....	73
1. 項目ごとの回答割合 .....	73
第2節 5種のスキルの分析 .....	76
1. 5種のスキルと基本的属性との関係 .....	76
2. 5種のスキルと職種との関係 .....	78
3. 5種のスキルと職場での評価との関係 .....	79
第3節 5種のスキルと社会貢献活動との関係 .....	80
1. 5種のスキルと過去のボランティア経験との関係 .....	80
2. 社会貢献活動で役に立ったスキルとの関係 .....	83
3. 現在の職場での評価と過去のボランティア経験ごとのスキル得点 .....	85
4. 5種のスキルと将来のボランティア意向との関係 .....	88
5. 社会貢献活動をするとしたらやってみたくいことと5種のスキル得点との関係 .....	90
第4節 小括 .....	93

第5章 老後の不安 .....	94
第1節 対象となる質問項目 .....	94
第2節 老後の不安の諸要因 .....	95
1. 老後の不安に関する回答傾向 .....	95
2. 「老後、生活に十分な資金があるか」にかかる不安 .....	97
3. 「健康」にかかる不安 .....	99
4. 「老後を一緒に過ごす人がいるか」にかかる不安 .....	101
第3節 退職後の就労と生活への希望 .....	103
1. 現在の会社にどのくらい勤めたいか .....	103
2. 男女別にみた傾向 .....	104
3. 年齢別にみた傾向 .....	104
4. 子どもの有無による差異 .....	105
5. 61歳時と66歳時の希望する働き方 .....	106
6. 会社の評価との関係 .....	107
7. 仕事の満足度との関係 .....	108
8. 考察：満足度要因別にみた傾向 .....	109
第4節 定年退職後の希望 .....	110
1. 定年退職後に取り組みたい活動 .....	110
2. 定年退職後に住みたい地域 .....	112
3. ボランティア・社会貢献希望について .....	114
(1) ボランティア・社会貢献を希望する人の特徴 .....	114
(2) ボランティアをはじめようと思う時期 .....	116
第5節 定年退職後の不安にかかる小括 .....	117
1. 不安の要因 ～お金と健康～ .....	117
2. 将来の雇用希望 ～評価と満足度との関係～ .....	118
3. 定年退職後に取り組みたい活動 ～趣味と家庭に偏重～ .....	119
資料編 .....	121
◇調査画面 .....	123
◇付属統計表 .....	145
・モニター調査基礎項目集計 .....	145
・企業調査基礎項目集計 .....	309

